平成 31年1月7日

研修報告書

氏名：柳下友映

所属：東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科

研修期間：平成30年12月17日（月）　～　平成30年12月21日（金）

研修場所：信州大学医学部附属病院遺伝子診療部

研修内容

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|  |  |  |  |  |
| 朝カンファレンス午前：陪席 | 午前：陪席 | 午前：稲荷山医療福祉センター外来陪席 | 午前：陪席 | 午前：陪席 |
| 　午後：陪席 | 午後：クリニカル・シークエンスレクチャー | 午後：稲荷山養護学校・療養施設見学・外来陪席 | 午後：信濃医療福祉センター外来陪席、療養施設見学 | 午後：陪席 |
| 　 | 症例検討会 | 　HBOC検討会 | 　 |  |

研修成果：

　染色体数的異常疾患、染色体微細欠失症候群、染色体構造異常、単一遺伝子病、家族性腫瘍について、陪席させていただき遺伝カウンセリングの技術を習得した。

　小児科では経験できないがん患者さんの遺伝子検査の結果の開示の機会やHBOC検討会に陪席し、多くを学ぶことができた。

　また信州大学で行われている、クリニカルシークエンスについて学ぶ機会を得た。診療ベースで遺伝子検査を行えることが患者さんにとって診断を早め、有効な治療に早くつなげられることができることを実感した。

その他（感想・要望・反省点、等）：

1週間という短い期間だったが、他施設での研修で遺伝子診療や研究について自施設と違い部分もあり、多くを学ぶことができた。療育センターの専門外来の陪席や、重心療養施設・養護学校の見学は今まで経験がなく、難病患者さんの支援について考える大変意義深い時間となった。

1週間ご指導いただき、大変ありごとうございました。